石櫻新聞

第1面
平成14年度生徒会
保健室に畠山先生
第2面
最近のニュースから

平成14年5月29日発行
第117号
発行　岩手高等学校
盛岡市長田町
印刷　山口北州印刷㈱

平成14年度 前期 生徒会役員 認証される

四月下旬、今年度前期の生徒会役員の選挙が行われた。会長には、二名の立候補者があった。副会長と書記は、定数である二名ずつの立候補者にとどまったために、信任投票になった。

その結果は次のとおりである。

生徒会会長
鈴木　暢　(三D)　君

副会長
皆川　洸士　(三E)　君
伊保内康太　(三E)　君

書記
渡邉　徹　(三E)　君
葛巻　伸太郎　(三E)　君

後日、前期役員の認証式が行われ、生徒会執行部を始めとして、各常任委員会の委員長などがそれぞれの役職に着くことが認証された。

現在は、これからの活動に向けて計画が立てられており、生徒会行事や生徒会スローガンなどへの取り組みが進められているようである。

今期の生徒会活動を一層充実させて、来期にもつなげていってほしいものである。　[二E　橋場大知]

畠山先生 保健室に着任される

この五月から、保健室の岡田由香先生が産休のため新しく畠山恵先生がおいでになっています。

そこで、畠山先生のことをもっと知るために、いくつかの質問をしました。

①この職に就いた理由は何ですか。

――看護婦になりたかったけれど、やっぱり子供が好きだったからです。

②この学校の印象はどうですか。

――来る前は、男臭そうなイメージがありました。でも、来てみたら意外とそうでもなかったです。それから、保健室はちょっと狭く感じました。

③この学校に慣れましたか。

――まだ来て数日しか経っていないので、まだ慣れていません。

④今後目指すことは何ですか。

――早く学校と生徒に慣れることです。

⑤生徒に言いたいことは何ですか。

――もっと保健室を利用してほしいです。

[二E　竹花秀樹]

自主登校 開始

今年の四月から、全国の公立の小学校、中学校、高等学校では、今まで休みではなかった第一・第三・第五土曜日も休みとなる、学校週五日制の完全実施となった。

私立である本校では、第一・第三・第五土曜日は、特進クラス・選抜クラスが講習授業を受け、文理クラスと中学校では、自主登校という形をとることとなった。

まず、この自主登校の良いところは、自分のやりたい教科をやれるというところだ。普段の授業で分からなかった部分も質問できるので、自主登校は、非常に有意義な時間だと思う。

この様に良いところがあるので、テスト期間中の第一・第三・第五土曜日だけでなく、普段の第一・第三・第五土曜日の自主登校の日にもたくさんの人に参加してほしいと思う。

[二B　和山昌樹]

応援歌練習

四月半ば、新入生を対象とした応援歌練習が応援団により行われた。

主な内容としては、校歌の歌詞を覚える事と全員が声をしっかり出して歌えるようになる事である。そして、来る高総体の時に他の高校に恥じること無く立派に校歌を歌えるようにしたいという事だった。

「返事は『押忍』と大声で」「気合いの入っていないクラスは正座」「礼儀正しく」と新入生に応援団が心得を言い渡すと、練習が始まった。

男子校ならではの、力強い応援歌練習は、新入生を驚かせた。

さて、練習が中間にさしかかると、一組ずつ歌うことになった。ところが、一組ずつでは、声があまり出なくなってしまった。

最後は、歌を歌う一人一人に応援団員が聞きに行き、声の出ている人から帰ってよしというシステムが実行された。

次は、五月十三日より、応援歌全七曲の練習が行われる。一年生は、その七曲を暗記して体育館に集合して、またあの気合いの入った練習に臨むことが約束された。

[一A　竹原広大]

平成十四年度大学合格状況

この春の本校からの大学合格者状況を報告する。

四月二十五日の時点で、国公立大学に一九（うち浪人生が八）名、私立大学には一四七（四〇）名、短期大学に六（一）名が合格を果たしている。

主な大学名を挙げる。国公立大学では、岩手大に九（五）名が合格し、山形大と福島大にそれぞれ二名ずつが合格している。私立大学では、盛岡大に九（三）名、青森大に六名、秋田経法大に六名、東北学院大に一六（六）名、城西大に三（一）名、日本大に九（一）名、が合格した。短期大学校では、岩手県立産業技術短期大に六名が合格している。

高校での三年間をどのように暮らすかで、大学への道が決まるだろう。私たちは、やがて就職する。しかし、今、就職状況は厳しい。こんな景気の不安定な時代だからこそ、多くの卒業生を送り出し、地域との強いネットワークを持った就職部局のある学校を選んでいく必要があると考える。

[二B　高橋　聖]

市民体　報告

四月下旬から行われた市民体の結果を報告する。

ソフトテニス
（県高総体地区予選を兼ねる）
四月二十一、二十三日
○団体戦・地区推薦
（県新人戦でベスト8だったため）
○個人戦
高橋　(三C)
中村　(二E)　組
地区推薦
田山　(二D)
大西　(三E)　組
準優勝
佐藤　(二D)
下田　(三D)　組
ベスト8
以上の三組は、五月三十一日から開催される県高総体に出場。

この結果を見て、岩手高校のソフトテニスの実力はかなりのものだと驚いた。これからも厳しい練習を積み重ね、よい結果を残してほしいと思った。

[二D　猪原大輔]

生徒会行事

四月九日、生徒会行事の対面式とクラブ紹介が行われた。

対面式では、新入生と二・三年生が向かい合って、挨拶をする。生徒会会長の松川さんが歓迎の言葉を述べた。新入生の挨拶は八重樫君だった。続いて、応援団が前に出て、エールを送った。

クラブ紹介は、各クラブごとに、大会の記録などを発表した。

化学部は、ロケット本体を見せて説明した。

吹奏楽部は、ステージで演奏した。

テニス部は、数々の賞状や優勝カップを提示して、壮観だった。

新入生は、どのクラブに入るか迷っているように見えた。

[二甲　菊池大悟]

高総体に向けて

どの部も勝つためにがんばっている。特にテニス部は、がんばっているように思える。毎年インターハイに出場し、よい成績を残しているからだ。

また、サッカー部、ハンド部なども、励んでいるようだ。三年生は、高校最後の部の大会になるので、今まで以上に気合いを入れていると思う。

さて、筆者は、ハンドボール部に所属している。高総体では、ベスト8を目標にしている。

どの部も、目標をもってがんばっている。どの部も目標が達成できるとよいと思う。

[二B　多田裕哉]

石割桜 '02-5

五月も後半に入り、もうすぐ六月になろうとしています。思い起こせば、この五月も、たくさんのことがありました。その一つがゴールデンウイーク（GW）です。GWは、みなさん、どのように過ごしたでしょうか。どこかに旅行に行った人、家でずっとすごしていた人、さまざまだったと思います。ちなみに私は、家でごろごろしていました。

▼その他のことでは、市民体や、校内体育大会がありました。市民体では、それぞれのクラブが全力尽くして、がんばったと思います。結果は、さまざまだったと思いますが、六月にある高総体に向けて練習に取り組んでほしいと思います。また、校内体育大会では、生徒一人一人が各自の種目に真剣に取り組みました。優勝したクラスも優勝できなかったクラスもありましたが、それでも皆が真剣に取り組んでいたのでよかったと思います。一年生は、初めての校内体育大会でしたが、この経験をもとに、秋の体育大会もがんばってほしいと思います。

[K617]

平成14年度大学・短大合格者一覧

平成14年4月25日現在

大学名	学部	学科	現役生	卒業生
〔国公立大学〕				
北見工大	工	電気電子	1	
岩手大	人社	法学・経済		1
		環境科学	1	
	教育	生涯スポーツ	1	
		小学校		1
	工	機械工	1	
		応用化学		1
		電気電子		1
		情報工	1	
	農	農林環境		1
福島大	経済	経済	2	
山形大	工	機能高分子	1	
	工	物質化学	1	
	工	物質生命		1
山梨大	経済	経営	1	
釧路公立大	経営経済	経営経済	1	1
青森公立大	ソフトウエア	ソフトウエア		1
岩手県立大	国・公立大学計		11	8
〔私立大学〕				
札幌大	外国語	ロシア語		2
	経済	経済		1
札幌国際大	人文社会	心理	1	
札幌学院大	商	商		1
酪農学園大	環境システム	地域環境	1	1
	酪農	農業経済		1
道都大	美術	デザイン	1	
北海道東海大	芸術工	デザイン	1	
北海道浅井大	人間福祉	福祉心理	1	
		北海道私大計	5	6
青森大	経営	経営	1	
		産業デザイン	1	
	社会	社会	3	
		社会福祉	1	
八戸大	商	商	1	
青森中央学院大	経営法		1	
八戸工業大	工	機械情報技術	1	
		電気電子工	1	
		環境建設工	1	
岩手医大	医	医	1	
	歯	歯	2	
盛岡大	文	英米文	4	3
		児童教育	1	
		日本文	1	
富士大	経済	経済	2	
東北学院大	法	法律	2	2
	経済	経済	1	1
		経営	2	1
	経済2	経済		1
	教養	人間	1	
	工	機械工	1	
		電気情報工	2	
		環境土木工	1	1
東北工業大	工	電子工	1	
		通信工		1
		建築	1	
東北福祉大	総合政策	産業福祉	1	
		社会教育	1	
東北文化学園大	科学技術	応用情報工	1	
東北芸術工科大	芸術	美術工芸		1
秋田経法大	法	法律	2	
	経済	経済	4	
いわき明星大	人文社会	人間社会	1	
		心理	1	
奥羽大	文	英語英文	1	
東日本国際大	経済	経済情報	1	
		東北私大計	47	11
高崎健康福祉大	健康福祉	健康福祉	1	
埼玉工大	工	応用化学	1	
城西大	経済	経済	2	1
目白大	人文	言語文化	1	
東京国際大	経済	経済	2	
千葉商科大	商経	商	1	
千葉経済大	経済	経営	1	
	経済	経済	1	
千葉工業大	情報科学	情報工	1	
中央学院大	商	商	3	
帝京平成大	情報メディア	臨床心理	1	
		北関東私大計	15	1

大学名	学部	学科	現役生	卒業生
青山学院大	経営	経営		1
国士舘大	法	法律	1	1
	政経	経済		1
	政経	政治		1
工学院大	工	応用化学		1
高千穂大	商	商	2	
大東文化大	外国語	中国語	1	
拓殖大	政治	経済	1	
	工	情報エレクトロニクス	1	
帝京大	法	法律	1	1
東海大	政治経済	経営	1	
東京経済大	経済	経済	1	
	経営	経営	1	1
東京農大	国際食料	生物企業情報	1	
	地域環境	生物環境工	1	
東洋大	経営2	経営	1	
	国際地域	国際地域	1	
日本大	法2	法律	2	
	工	機械工	2	
		物質化学工		1
		情報工	1	
	理工	精密機械工	1	
		電気工	1	
	生物資源科学	森林資源科学	1	
法政大	法	政治	1	
	文2	日本文		1
立正大	仏教	仏教	1	
	法	法律		1
	経営	経営		1
早稲田	第一文		1	
		東京都地区	25	11
神奈川大	法	法律		1
	経済	経済		1
	経営	国際経営	1	
	経済2	経済	1	
神奈川工科大	工	情報工	1	
関東学院大	文	現代社会	2	
		英米		1
	経済	経済	1	
	法	法律	1	
東京工芸大	工	建築	1	
桐蔭横浜大	法	法律	1	
		南関東地区	9	4
北陸大	薬	薬		1
京都学園大	法	法律		2
	経営	事業構想	1	
名古屋造形芸術大	総合造形			1
京都産大	外国語	ロシア語		1
同志社大	文	教育学	1	
	法	法律	1	
	工	電気工	1	
立命館大	理工	応用化学		1
龍谷大	経済	経済	1	
第一薬科大	薬	薬	1	1
		関東以西地区	6	7
		私立大学合計	107	40
〔短期大学〕6名				
秋田県立短大		生物畜産	1	
専修大北海道短大		経済		1
函館短大		食物栄養	1	
光星学院短大		経営情報	1	
盛岡大短大		食物栄養	2	
〔短期大学校〕8名				
岩手県立産業技術短期大		メカトロニクス	2	
		電子技術	3	
		情報技術	1	
岩手県立農業大学校		園芸経営	1	
秋田職業技術短大		電子技術		1
〔その他〕2名				
放送大学			2	
		その他計	2	

平成13年度

終業式

三月十五日、終業式があった。

これは一年の中での最後の行事である。

思えば、さまざまな事があった。

入学式、体育大会、高総体、石桜祭、これらは一年生にとっては初めての経験だった。とてもよい思い出になった。そして、終業式が終わり、新しい年度になると、在校生は学年が一つ上がり、先輩になっている。この一年間を通して、何もかもが初めてでとまどったこともあった。しかし、今となってはもう昔のことだ。一年間のいろいろな事を反省し、新年度、新たなる目標も掲げて、少しでも向上していきたい。「やっぱり岩手高校の生徒はすごい」と言われるようになりたい。

[二A　米澤　剛]

高校卒業式

三月二日、高校の卒業式が行われた。二百六十一名が卒業していった。ちなみに入学時は二百九十名であった。卒業生総代をしたF組の西塚毅孝さんがとても印象に残った。

奨学金の授与者は、学業から五名、部活動からテニス部の赤坂和男さんだった。来年は何人が対象になるだろうか。

筆者にとっては、高校に入ってから初めての卒業式で、なんだか中学校に比べて、とてもシンプルだったと思った。中学校では、歌をたくさん歌ったりなどして、とても長かったので疲れた。けれども、高校の卒業式は、とても早く終わって、とても楽だった。僕らもあと二年経てば卒業だ。長いようで短いこの高校生活を楽しく過ごしていきたい。もう一年で上級生も卒業していくので、僕たちも先輩だという気持ちを大切にしていきたい。

[二C佐々木智宏]

新・受験生日記①

春が過ぎ夏が近づいている。三年生にとっては、もう五月、という感じだ。最後の学年、やりたいこともあるけれども、勉強しなくては、と思う。しかし、勉強は手に着かない。どこの大学に行くの？専門学校に行くの？と両親に聞かれ、迷っている。分からない、と答える自分。今とても厳しい地点に立っている気分だ。三年の勉強をしないといけないし、一・二年の復習もしないといけない。出来れば推薦で合格したいけど、やることがたくさんあるので、頭がパンクしそうだ。

一方、まだ五月という気のゆるみもあるのか、なんかやる気が起きなくて、何となく勉強する毎日を過ごしている。やっぱ今は、勉強も大切だけれども、自分が将来何をやって暮らしていくのかを見つけ、それをしたいならどの進路を選べばいいのか、それを考えなければ始まらない、という感じだ。[三B　高橋　聖]

新年度　始業式

四月五日に、二年生と三年生が登校して始業式が行われた。

校長先生は式で、学校の一年は始業式から始まるので、始業式の日が元日だと思って、新しい目標を立てて、生活をしていこう、という話をしてくださった。この話のように、二、三年生は、昨年度よりも充実した生活になるように、特に三年生は受験生となったので、気持ちを引き締めてがんばっていかなくてはいけなくなる。

翌日以降入学してくる新一年生も、学校の段階が移り、生活する環境が変わってとまどう事が多いと思うが、早く新しい生活に馴れるようがんばってほしい。昨年度は、満足な生活ができなかった人も、気持ちを新たにして、充実した一年を過ごせるようにがんばっていこう。

[三B　沢田　渉]

久保先生　ご退職

この春、久保先生がご退職なされた。先生はご担当の数学をとても分かりやすく丁寧に教えてくださった。また、寝ていたり、しゃべっていたりすると、厳しい指導をいただくので、勉強に身が入った。

先生は、我が岩手中・高校に三十二年間お勤めになったという。これはすごいことである。私たちを評して、「今まで見てきた生徒の中で今の岩高生が一番だらしない」とおっしゃられたことがある。

衝撃を受けたが、先生のおっしゃることはそのとおりだ、と感じる。これからは、服装など整えていきたいと思う。そして、「岩高生は服装がよい」と言われるようになりたい。

先生の言葉で私たちは変わりたい。

これまで本当にありがとうございました。先生、これからもどうぞお元気でいらっしゃってください。

[二C　武田清慈]

携帯電話持ち込みについて思う

今年度から携帯電話（以下、ケイタイ）の持ち込みが許可されることになった。

筆者自身は、そんな物、持っていないから、関係無い、と思っている。

けれども、ケイタイを持っている皆からは、十分間休みや昼休みに使用不可ということで、あまり良い声は上がっていない。これが現状だ。

一応、許可無しで持ち込むよりは、許可有りの方がもしもの時に都合がよいということもできるだろう。

ちなみに、許可制になって役立っている人の話には次のようなものがある。下校中に自転車がパンクした時、ケイタイで連絡をして遠距離に住む人で、電車が長時間待ちの時、ケイタイに来てもらった。

ここで、注意をしておこう。授業中にケイタイを使用してはいけないのは勿論のことだ。しかし結局、没収されている人もいるという話もある。くれぐれも気を付けよう

[二D　祝田　聖]

新しい自動販売機が設置される

この四月に新しい自動販売機が導入された。ほとんどの生徒がその新しい自動販売機に飲み物を買いに行った。全て九十円という値段でサイズが大きい。新しさもあって人気が集まっている。メニューは、いちご、レモンティー、ブレンドコーヒー、烏龍茶、六条麦茶、ミルクココア、エスプレッソ、キャラメルラテ、寒天蒟蒻紀州うめ、ゆず、りんごこんにゃく、ぶどうこんにゃく、なっちゃんはちみつレモン、ヨーグルファーム、フルーツ村アップル、グレープフルーツボディーバランス、すっきりグレープブレンド、まろやかピーチブレンド、だ。

[三甲　小林亮太]

中学　入学式

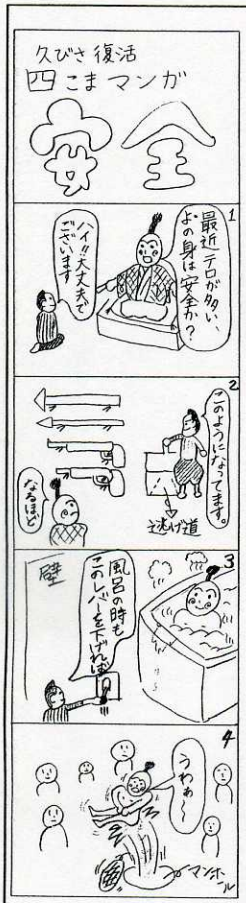
今年の中学校の入学式は四月六日に行われた。

新入生は十人で、さらに転入生が入って、全部で十一人になっている。担任は及川先生になった。入学式では、西館君が代表で誓いの言葉を述べた。新入生に、この学校に来て一番最初に思ったことを聞いてみた。

部活動は、ソフトテニスや将棋をしたいという。

[二甲　武田明典]

久びさ復活
四こまマンガ



最近のニュースから⑤

学校週五日制が完全実施される

この四月から、小・中学校、高校で学校週五日制が完全実施された。これまで第二・四土曜日が休みであったのを、全ての土曜日を休みにするという制度である。

この制度の良いところは、家族などとのふれあいの時間を長く持てるということ、地域などの行事、ボランティア活動に参加し、人のため、社会のために貢献できる、ということだ。

しかし、このため、子供の学力が低下するのではないかと心配し、この制度に不満を持っている親も多く、まだ検討する必要があるようだ。

我が岩手高校では週五日制は、自主登校として実施され、生徒の自主性を大切にしようと考えられているようだ。

このように、週五日制は勉強だけではなく、ゆとりの時間、つまり自分の時間を大切にしようという意味なのではないかと思う。

[三A　川村弦輝]

医療―医師による安楽死、看護師による殺人

医療に携わる者が関わったニュースがあった。

まず、医者が患者を安楽死させていたということである。

神奈川県の川崎協同病院で、一九九八年、ぜん息の男性患者が死亡した。これについて「家族の要請で治療継続を断念した」という主治医だった女性医師の見解が今年の四月十九日に明らかになった。

患者の気管内に挿入していたチューブを「抜いてください」と患者の妻に頼まれ、「最期になる」「見守ってあげてください」と説明し、質問や異論が出ず家族の了承を得たという。その後の鎮静剤や筋弛緩剤の投与は「呼吸を止める目的ではなく、苦悶を取るためだった」としている。

だが、それを患者の長男は「治療だと思っていた。生きていてほしかった」と全面否定し、真っ向から対立している。

また、九州・福岡県久留米の看護師らが医療チューブで夫に酒を大量に飲ませるなどして殺し、保険金を手に入れていたという。

医療はどうなっているのだろうか。

[一B　佐々木要祐]

経済―みずほ銀行の混乱

合併したみずほ銀行で、四月一日、旧第一勧業銀行の口座を中心に処理が一部滞った。システム移行と年度末の決済が重なって、顧客口座データの入った磁気テープの搬送ミスや、システム容量不足などから起きた。

二日朝にデータを調べ直したものの、混乱は続き、連鎖的な影響もあった。事前に受け付けた振り込みのうち二千～三千件が翌日に遅れ、二重引き落としなど誤送金が五千件発生したという。

五日にその修正をほぼ終え、三十日に約九百万件の年間最大口座振替集中日を迎えたが、大きな混乱は無かった。

皆さんの家に影響は無かっただろうか。

[一B　高橋智弥]

国内政治への関心―小泉内閣の行方

今、小泉内閣は、放置できない深刻な危機に直面している。

小泉内閣の、八割を占めていた支持率は、発足時から一年が過ぎて五割を切っている。

原因の一つは北方領土に関わる問題だ。当地に鈴木宗男氏が「ムネオハウス」を建てた際などに特定業者との間で利益を得たのではという疑惑が浮上し、他党の議員から批判を受けた。しかし、与党の内閣は鈴木氏に厳しく処することができず、支持率が落ち始めたのだ。

この問題では、鈴木氏と外務省の関係も問われだした。外務省官僚との不和があって、外務大臣であった田中真紀子氏がクビにされ一番打撃を受けた。

小泉内閣の支持率低下のもう一つの原因として、靖国参拝問題もあろう。靖国の問題では、他の政党の議員から批判を受けていた。国民の中にも靖国への参拝を反対する声が聞こえた。そして、支持率が下がったのだ。

これらの問題に追い打ちをかけるように、多数の問題や疑惑が浮上し、小泉政権の支持率は下がり、五割を切った政権は一番の危機を迎えた。

今後、小泉内閣を立て直すには、政権基盤を見直す時期に来ている。

[三C　内藤雅之]

世界情勢―パレスチナとイスラエル

二〇〇一年の暮れに、海岸で凧を揚げている数十人の若者たちがいた。その一つ一つの凧には、兵役を拒否してイスラエルの刑務所に入れられている若者たちの名前が書かれている。

イスラエルでは、十八歳以上の、男子に三年の、女子に一年九か月の、兵役義務がある。建国以来、パレスチナ（アラブ）との戦争が続けられているイスラエルでは、兵役義務を拒否することはタブー視されてきた。しかし、新たなる動きが出てきていた。二〇〇一年九月三日、イスラエルの六十二人の私たちと同じ高校生が勇気を出してシャロン首相あてに兵役を拒否する手紙を書いたのだ。現在イスラエルのやっていることは悪いことだと思う。なぜならイスラエルは若者たちを不自由にしているからだ。

パレスチナ（アラブ）はなぜイスラエルとの争いを続けているのか。いろいろな事情はあると思う。しかし、パレスチナとイスラエルには平和を築いてほしいと考える。

[一C　浅沼泰則]

編集後記

出版委員会では、放課後遅くまで活動し、校内新聞の作成をしています。

記事の内容は、学校に関係のある、中学・高校の入学式、クラブ紹介、応援歌練習、自由登校で、他に、新しい自動販売機、市民体報告、そして、委員会についての記事があります。（この文章は委員会の記事になるはずでした。）

僕のいた中学では、無かったのですが、最近のニュースについての記事もあります。例えば、学校週五日制の完全実施、小泉内閣の行方、アラブとイスラエルなど、皆さんが興味関心を寄せているニュースの記事がたくさん書かれます。

新入生にとっては初めてのことでしたが、どの委員も記事についてまじめに調べ苦労して作り上げた新聞です。皆さんぜひ読んでください。

[二C　村松那幸]

※この文章は、三月十三日に執筆したものです。▼高校卒業式も終わり、終業式間近となり、十三年度も終わろうとしています。十三年度を振り返ってみると、学校行事では、クラブ対抗レースの復活した体育大会、大食堂が運営された石桜祭がありました。世間のニュースでは、テロ事件や狂牛病がありました。その中でも一番印象に残ったのはテロ事件です。九月から始まり、戦争が今も続いて苦しんでいる人がいます。この事件、早く終わってほしいと思います。▼さて、話は変わりまして春休みが終わると入学式があります。式は新しい中学生や高校生が入学してきます。さぞかし緊張していることだろうと思います。私達も先輩として、新入生と接していきたいと思います。▼また、四月の中旬にはクラブ勧誘やクラブは、自分に合ったところを見付けて早くなじんでほしいと思います。応援歌練習は、第一応援歌から第三応援歌までと内容が多いですが、新入生には早く覚えてほしいと思います。▼平成十三年度も色々ありました。そして、平成十四年度の四月からは、気持ちを切り換えてまたがんばっていきたいと思います。

[K617]

石割桜
'02-4